

サマー ピラミッド

国語 小6

Summer Pyramid

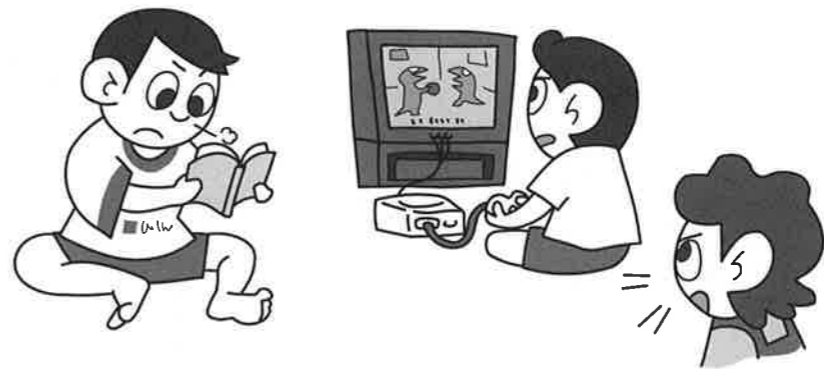
インパラ Impala

回	単元名	ページ	学習日
1	少年たちの夏	2 ~ 5	月 日
2	進化とはなんだろうか	6 ~ 9	月 日
3	源じいさんの竹とんぼ	10 ~ 13	月 日
4	体感する宇宙	14 ~ 17	月 日
5	散歩の唄	18 ~ 21	月 日
6	地球環境のしくみ	22 ~ 25	月 日





(1)～(4)の条件にあてはまる漢字を選ぼう。選んだ四字をならべると、四字熟語ができるよ。さあ、それは何だろう。



(1) 音読みも訓読みもあるのはどれかな？

央 畑 中 不 句

(2) 総画数がいちばん多いのはどれかな？

務 夢 散 烏 理

(3) 総画数がいちばん少ないのはどれかな？

河 賀 芽 画 我

(4) 二種類の音読みがあるのはどれかな？

禁 満 無 連 群

四字熟語



1 <漢字の読み書き>

(1)～(4)の漢字は読みがなをひらがなで、(5)～(8)のかたかなは漢字に直して書きなさい。

(1) トレーニングで筋骨たくましい肉体をつくる。

(2) 総理大臣が閣議を開く。

(3) 山の頂に一年じゅう雪が残る。

(4) 磁石で砂鉄を集める。

(5) センメンキに水を張る。

(6) 先生のお宅をハウモンする。

(7) ケンポウ記念日の特別番組を見る。

(8) 国民のケンリを守るために努力する。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 <漢字の成り立ち>

次の(1)～(4)の成り立ちの漢字を下の□か

(1) 象形文字

(2) 指事文字

(3) 会意文字

(4) 形声文字

□	□	□	□
□	□	□	□

効	上	岩	府
羊	羽	二	美

3 <漢字の部首>

次の漢字の部首名をひらがなで書きなさい。

(1) 祝

(2) 刊

(3) 間

(4) 写

(5) 益

(6) 厚

(7) 起

(8) 京

(9) 冷

(10) 登

(11) 隊

(12) 科

□	□	□	□	□	□
□	□	□	□	□	□

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「四万十川と後川の合流点ではふたつの川がはげしくぶつかり合い、いくつもの渦をつくっていた。小学六年生の夏休み、「ぼく（こうちゃん）」とまもると圭造は三人でつくった竹のいかだ（ドラゴンホース号）でこの川を下ることになった。」

ぼくはAしていた。息をするのもくるしいほどだった。お母ちゃんとお父ちゃんの顔がうかんだ。図工の時間はぼんやりしていたのに、いまははつきりとうかんだ。それから、おばあちゃんや弟たち。ふりむけば、まもると圭造がいた。「やっちゃんけん！」

まもるが、ぼくの下こにいかだをつけてきた。

「こうちゃん。いっぺん偵察してからのほうが、ええことないか」

「偵察しちよるうちに、渦にまきこまれるろ。それやったら、さいしよから渦につっこんでいくほうが、ええ」

ぼくは、どきどきしながら、そうさけんだ。

「わかった。こうちゃんが、そういうなら、やっちゃんつて。ドラゴンホースは、船体が長いけん、渦にひきこまれることはないろ。」

なにかあったら、ぼくがさおをだすけん、それにつかまったらええ」

「岡崎、やめといたほうがええんとちゃうか」と圭造がB。

*1 四万十川は高知県を流れる川。

*2 後川は四万十川に流れこむ川。

*3 偵察は相手の様子をこっそり探ること。

*4 繫留は船をつなぎとめること。

*5 柔軟性はやわらかく、しなやかな性質。

問一 Aにあてはまることばとしてもよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア いらいら イ うきうき

ウ どきどき エ めそめそ

問二 線①「いまははつきりとうかんだ」とありますが、どういう気持ちだったから家族の顔がうかんだのですか。もつともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア 不安な気持ち。 イ 自慢したい気持ち。

ウ うれしい気持ち。 エ 腹立たしい気持ち。

問三 線②「さいしよから渦につっこんでいくほうが、ええ」とありますが、このときの「ぼく」について説明したものとして最もよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア 決意が固まっている。 イ 気持ちがゆれている。

ウ なげやりになっている。

エ 無心になっている。

問四 Bにあてはまることばとしてもよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア 目を光らせている。 イ 首をかしげている

ウ 顔を青くしている。 エ 口をどがらせている

「とにかく、圭造、まもる。やばいことになったら、たのむぜ」

ぼくがそういうと、まもるはにこにこしてうなずいた。ちよつとの間をおいて、「よつしゃ」と圭造もうなずいた。

ぼくらはいったん、岬の陸地にいかだを繫留した。「そうずつ、挑戦しようというわけだ。ぼくになにかあれば、すぐにいかだで助けにくることになっていた。」

ぼくはさおのオールをあやつって、合流点の方角にドラゴンホースの頭をむけた。

四万十川の水の色は、深い青色だ。後川はやや緑色がかったりる。川は、岸辺にはえている草や木や、そこで生きている虫や鳥によって、色を変えるらしい。そんなふたつの川がぶつかり、渦をまき、さらに大きな川になっていく。ぼくは、そのせめぎあいの中にたつっこんでいった。

なにかとつてもない力によって、ぼくのドラゴンホース号は、左の方向にひきよせられていく。オールでけんめいにかいたが、ぐんぐんひっぱられていった。

さいしよの渦が、目のまえにあった。

船底に、どんと衝撃がきた。「ひつ」とぼくは小さな悲鳴をあげた。そのとたん、いかだが右にねじれる感じがした。竹の束が、たがいにこすれあい、ひんまがるような音もした。けれども、竹は柔軟性がある。どんなにねじれても、束になつておるかぎり折れることはない。ぼくはじぶんにさういいきかせて、ドラゴンホースの頭にしがみついた。

（横山充男『少年たちの夏』ポプラ社）

問五 線③「一そうずつ、挑戦しよう」と考えたのはなぜですか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

万一、渦に たら、ほかのふたりですぐに に行けるようにするため。

問六 線④「四万十川の……やや緑色がかった」とありますが、川の色はどんなことによつて違つてくるのかを説明した一文の初めの五字を文中から書きぬきなさい。

問七 線⑤「そのせめぎあいの中につっこんでいった」ときの様子を説明した次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

の方向へ ひっぱられていった。

問八 線⑥「さういいきかせて」とありますが、どういいきかせたのですか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

竹は があるからどんなになつていけば折れることはない。

第2回 進化とはなんだろうか

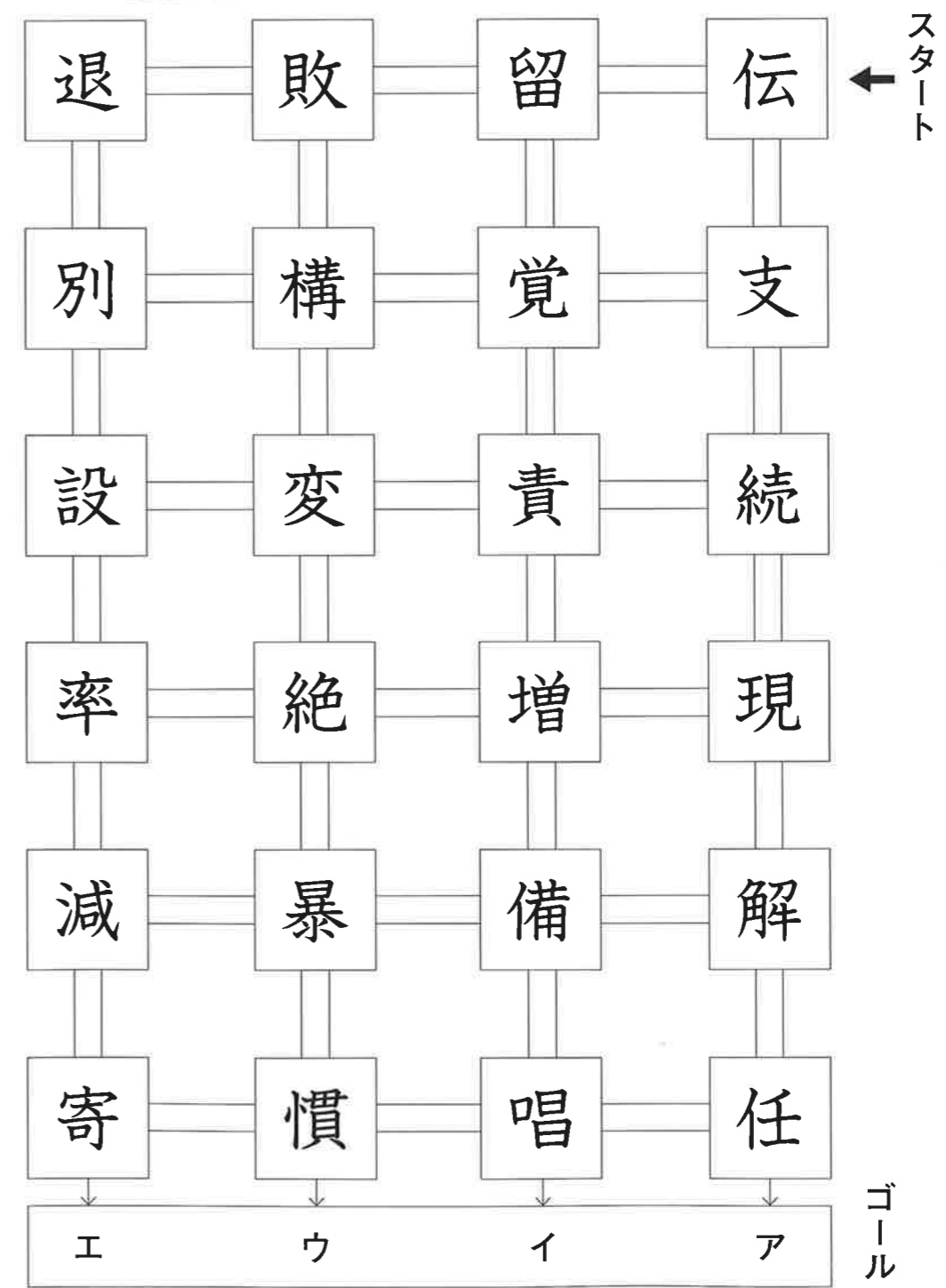
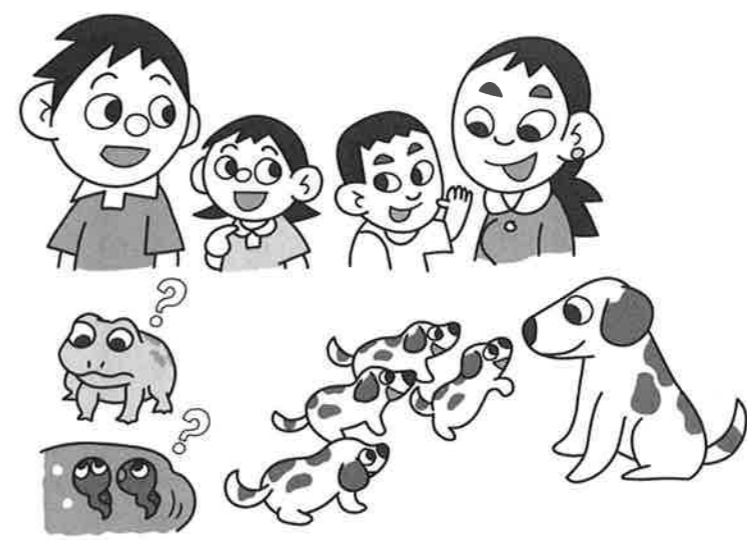
— 学習内容 —

・ 指示語 ・ 接続語
・ 説明文

学習日 / 月 日



「伝える」のように、送りがなが「える」になる漢字の通路を通過してゴールをめざそう。
ゴールはア〜エのうちどこかな？ 記号を○で囲もう。



1 〈漢字の読み書き〉

(1) (8)のかたかなは漢字に直して書きなさい。(5)
(2) 毛筆で巻紙に手紙を書く。

- (1) 誠意をつくして説明する。
- (2) 郵便局に速達を出しに行く。
- (3) ビデオレターが届く。
- (4) 父のキンム先に電話をかける。
- (5) まずシンコキュウをする。
- (6) 自分のドキョウをためす。
- (7) 頭がコンランしないように、メモを見て話す。

2 〈指示語〉

のを、それぞれのア〜ウから選び、記号で答えなさい。
線①〜③の指しているも

- (1) 線①「そこ」
ア 百八十度にセットしたオーブン
イ ふるった小麦粉
ウ クリーム状にしたバター
- (2) 線②「そうすると」
ア 砂糖を一度に全部加えると
イ ボウルに入れたものをませすぎると
ウ ケーキのふくらみ方が不十分だと
- (3) 線③「これ」
ア クリーム状にしたバターに砂糖、卵、粉を入れてませたもの
イ クリーム状になるまでませたバター
ウ わつてときほぐした卵

3 〈接続語〉

- (1) 前後の内容が逆の関係（逆接）。
□ (1) □ (2)
- (2) 前の内容にあとの内容を並べたり、付け加えたりする（並立累加）。
□ (1) □ (2)

バターケーキの作り方

オーブンを百八十度にセットし、小麦粉をふるっておく。ボウルにバターを入れ、クリーム状にする。そこへ砂糖を三回に分けて加え、ませる。さらに、卵、粉の順に続けて入れてませる。（しかし、ませすぎはいけない。そうすると、ふくらみが悪くなるからだ。）これを型に流し、オーブンに入れて中段で四十分焼く。すると、バターケーキができあがる。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

生き物には、それぞれの形や行動が、生き物の環境や暮らし方に、非常にうまく合うようになっているという不思議な特徴があります。

たとえば、アフリカのタンガニーカ湖に住んでいる魚の中には、他の魚のウロコだけを失敬して食べているような魚がいます。そして、この魚には、口が左側に曲がっているものと、右側に曲がっているものがあり、左側に曲がっている個体は、他の魚に右側から接近してウロコを食べますが、右側に曲がっている個体は、左側から接近してウロコを食べるのです。

ガンの仲間に、インドガン (Anser indicus) という種類がいます。この鳥は、ヒマラヤの上空、地上九〇〇メートルものところを飛んで渡りをします。これはジェット機が飛ぶような高さであり、人間ならヒマラヤに登るだけでもやつのことなのです。①から、そんなことができるためには、非常に薄い空気からでも効率よく酸素を吸収できねばならないでしょう。事実、この鳥は、呼吸によって酸素を吸収する能力が非常に優れています。それは、赤血球の中で酸素を運ぶ役目をしているヘモグロビンというタンパク質の遺伝子に変化が起こり、他のガンカモ類ではプロリンというアミノ酸であるところが、アラニンに変化しているためです。この、一つのアミノ酸の変化のために、このガンは、他のガンカモ類よりもずっと酸素を効率よく吸収できるようになったので、九〇〇メートルもの高いところをやすやすと渡っていくことができます。

チョウやガの幼虫が大食であることと言ったら、それはすごいものです。桜の木でもなんでも、毛虫がつくと丸裸にされてしまうことがあるのはご存知でしょう。毛虫にとっては、早くたくさん食べて早く成虫にならねばならないので、できるだけたくさん食べます。

A 植物にしてみれば、光合成をして栄養を作るための大事な器官である葉を、むしやむしやと食べられてしまつてはたまりません。B 植物は、葉を食べられないようにするための防御をいくつも編み出しています。

そのような防御の一つに、アルカロイドという毒を葉に蓄えることがあります。これがあると、味はまずくなるし、有毒だし、毛虫はその葉を食べられなくなってしまいます。ところが、毛虫の方も黙ってはいません。コスタリカの熱帯降雨林に住んでいる Melania というチョウの幼虫は、早朝、植物がまだ葉の先端までアルカロイドを行き渡らせる前に、主軸から始めて丸く円状に葉脈を噛み切つてしまいます。こうすると、その円の中には、もうアルカロイドが入ってくることはないので、毛虫は、ゆつくりとその内部の葉を平らげることがができます。

まだまだ、いくつでも例をあげることができますが、これくらいにしておきましょう。このように、生物は、その形態や行動、生理学的機能などが、その暮らしと非常にうまくマッチしています。言ってみれば、そういう暮らし方をするように、うまくデザインされています。このことを「適応」と呼びます。適応は、生物界のいたるところに見ることができます。

(長谷川眞理子「進化とはなんだろうか」岩波書店)

- *1 失敬 他人のものを勝手に持ち去ること。 *2 渡り 鳥などが季節によって移動すること。 *3 効率 労力と成果との割合。 *4 遺伝子 生物の細ぼうの中にある、遺伝を起すものになる物質。 *5 防御 相手のこうげきをふせぐこと。 *6 生理学的機能 ことでは、からだの様々な部分の働きのこと。 *7 マッチ 調和すること。 つり合うこと。

問一 □ A・Bにあてはまることばの組み合わせとしてみつともよいものを次のア〜ウから選び、記号で答えなさい。

- ア A だから B それに
イ A また B ところで
ウ A しかし B そこで

問二 形や行動が、環境や暮らし方に非常にうまく合っている生物として例に挙げられているのは、どんな生物たちですか。次の□にあてはまることばを、文中から書きぬきなさい。

- ・タンガニーカの湖に住む、
・ガンの仲間の、
・コスタリカに住む Melania というチョウの

問三 線①「そんなことができるためには……酸素を吸収できねばならない」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

- (1) 「そんなこと」とは、どんなことですか。もつともよいものを次のア〜ウから選び、記号で答えなさい。

問四 線②「毛虫の方も黙ってはいません」とありますが、植物のどういう防御に対して、どうするのですか。次の□にあてはまることばを、文中から書きぬきなさい。

- 早朝、植物が、葉に
いう毒を行き渡らせる前に、円状に
を噛み切る。

問五 この文章で筆者がもつとも言いたかったことを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 生物の中には、予想以上に有毒なものが多いので、人間は注意してそれらに接するほうがいい。
イ チョウやガの幼虫は、植物を大量に食べるので、危険な存在である。
ウ 一部の生物の、呼吸によって酸素を吸収する能力の高さを、人間にも応用していきたい。
エ 生物は、その形態や行動、体のはたらきが環境や暮らし方とうまく合っている。

第3回 源じいさんの竹とんぼ

— 学習内容 —

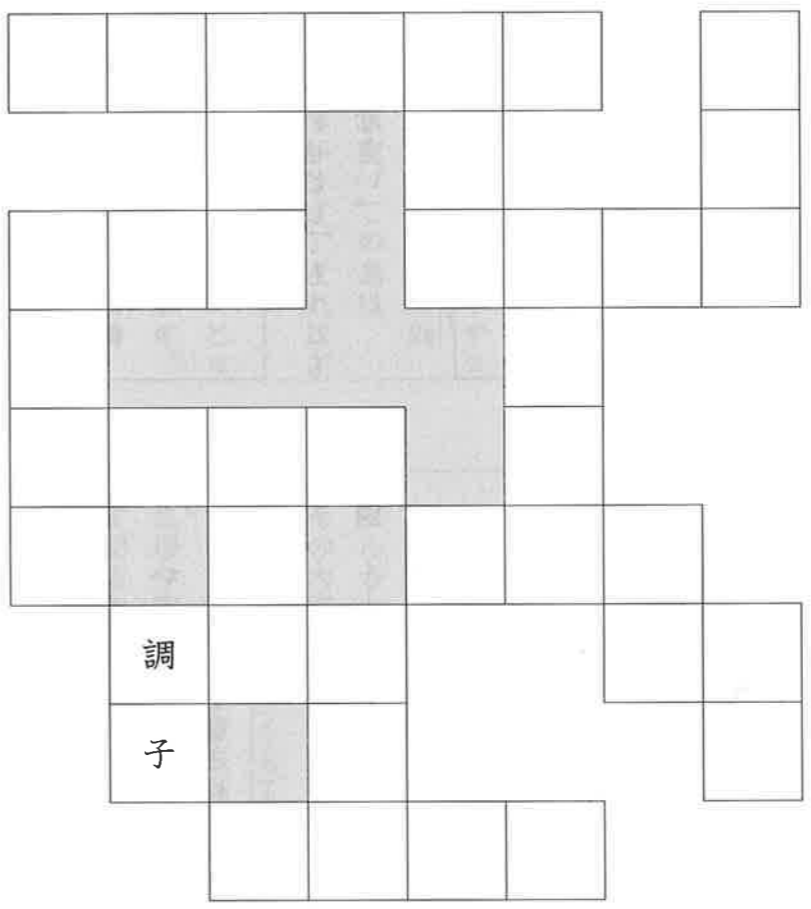
・ 漢字の読み
・ 物語文

学習日 / 月 日

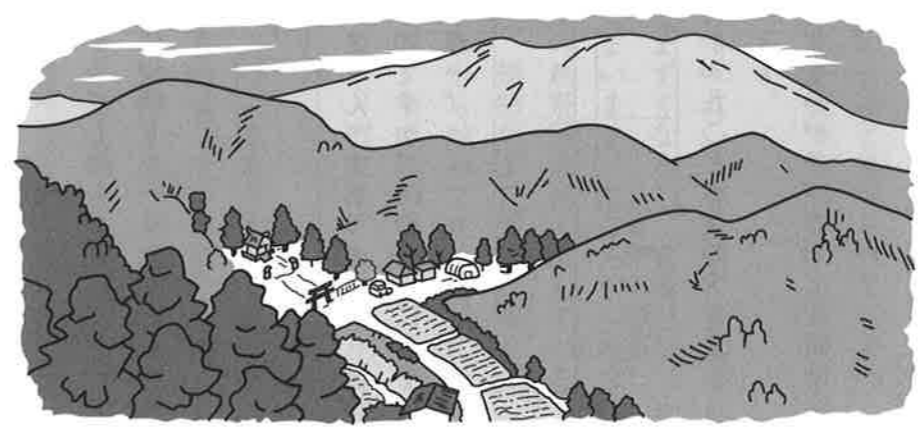


上のリストにあることばを、□にあてはめていこう。
一つだけ、使われずに残ることばは何かな。(重なる部分の漢字の読みは異なる場合もあるよ。)

- | | |
|----|-----|
| 画家 | 調味料 |
| 家族 | 無意味 |
| 調子 | 料理人 |
| 録画 | |
-
- | | |
|-------|--------|
| 〔三文字〕 | 〔四文字〕 |
| 議事録 | 公共事業 |
| 公務員 | 個人主義 |
| 祝祭日 | 事実無根 |
| 総動員 | 生年月日 |
| 大学生 | 年中行事 |
| 大自然 | 〔六文字〕 |
| | 内閣総理大臣 |



答え



1 <漢字の読み書き>

- (1) (8)のかたかなは漢字に直して書きなさい。
(2) 勝負が延長戦に持ちこされる。
(3) かくされた財宝を見つけに旅に出る。
(4) えさ用のクワの葉を蚕にあたえる。
(5) 蚕のまゆからキヌイトをとる。
(6) 文化祭でヒゲキを演じる。
(7) ぶたい衣装を作るためにサイスンする。
(8) 服にウラジをつける。

--	--	--	--	--	--	--	--

2 <漢字の読み>

- 選び、記号で答えなさい。
(1) 音だけで読むもの
(2) 訓だけで読むもの
(3) 音読み+訓読みをするもの
(4) 訓読み+音読みをするもの

- | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | 合図 | イ | 植木 | ウ | 着物 | エ | 未来 |
| オ | 番組 | カ | 役目 | キ | 性格 | ク | 弱気 |

3 <漢字の音訓>

かなで、訓読みはひらがなで書きなさい。
かなで、訓読みはひらがなで書きなさい。音読みはかたかなで、訓読みはひらがなで書きなさい。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) 風車 | (2) 見物 | (3) 年月 | (4) 初日 | (5) 生物 |
| | | | | |
| | | | | |

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ぼくら」は毎日のように「源じいさん」の家へ行き、竹でいろいろな遊び道具を作ってもらっていた。そのころ製紙工場が建ち、人が増え、「ぼくら」の村は町になった。

けれども、おいおいに町の形が整って、市場ができ、商店が建ち、工場に共同購買所ができると、野菜も、いろいろな手作りの品物も、よその町から入ってくるようになりました。

ぼくらの家で作るわずかな野菜、家ちくなどは、大した役に立たないようでした。源じいさんの手作りの、かご・ざるなどにしても同じことでした。近所の人々は、また、前どおり、馬車にゆられながら、となり町まで売りに出かけるようになりました。

そんなことを、家の者から聞かされたり、見たりしていたせいか、ぼくらは、工場や町中の子どもたちとは、仲良くできませんでした。

学校のこともそうでした。建物が大きくなり、転校生が来るたびに、初めは得意になったものでした。

ところが、しだいに、もとからいたぼくらの方が、小人数になってしまいました。

学校は転校生の天下です。楽しかった学校さえ、ぼくらはきらいになってしまいました。

工場の社宅の子や町の子は、いつもさっぱりした洋服を着ていました。絵本や雑誌、めずらしい学用品も持ってきました。

ぼくらは、学校に行つてまで、すみの方に追いやられたような

気持ちになりました。

相変わらず大手をふって遊べる所といえば、源じいさんの家の周りだけになってしまいました。

その源じいさんまでも、工場の社宅の子や町の子に取られそうになりました。もう、じっとしてはいられません。

「文句を言ってやろう。」

だけれどもなく言いました。

秋も終わりに近い、よく晴れた日のことでした。校庭の鉄棒が、ひんやりしていました。

ぼくらは、そこへ、帰りおくれたつばめのようにならんで、源じいさんの家にたびたびやって来る同級生に言いました。

「おじいさんが仕事ができなくなるのが、分かんのか。」

「君たちだつて行つてるじゃないか。」

その子は、当たり前だといった顔つきで言い返してきます。

「ぼくらは、昔から行つてるんだ。」

「それに、うちから、野菜を持っていくんだぞ。」

「町の子や社宅の子は、ねだるだけじゃないか。」

たった一人でよびつけられた同級生は、A になりました。

あまり効きめがあつたので、

「いいよ。帰つたら、みんなに、あまり行なくなって言ってくれ、いいな。」

ぼくらは、かえつて、B してしまいました。ほんのたまに、

家の者に言いつけられたときしか持つていかなかったのに、まる

で、源じいさんのくらしのめんどうをみているようなことを言つてしまつて、こうかいました。

だれも、同じだったとみえて、しばらくの間、みんなは、思いの野菜や花を、ぶら下げていきました。

(斎藤了一『源じいさんの竹とんぼ』学校図書)

言うのですか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

源じいさんの家へは

問五 A □にあてはまることばとして、もつともよいものを次のア

イから選び、記号で答えなさい。

ア 泣きだしそう

イ 怒りだしそう

ウ 笑いだしそう

エ 叫びだしそう

問六 線⑤「みんな」とはだれのことですか。文中から八字で書

きぬきなさい。

□□□□□□□□

問七 B □にあてはまることばとして、もつともよいものを次のア

イから選び、記号で答えなさい。

ア わくわく

イ おどおど

ウ はらはら

エ いらいら

問八 線⑥「しばらくの間、みんなは、思い思いの野菜や花を、

ぶら下げていきました」とありますが、「ぼくら」はどんな気持ちでこのような行動をとつたのですか。もつともよいものを次の

アから選び、記号で答えなさい。

ア やさしい気持ち。

イ はればれとした気持ち。

ウ さびしい気持ち。

エ うしろめたい気持ち。

問四 線④「文句を言ってやろう」とありますが、どんな文句を

ア 遠慮をしないで。

イ けんかしないで。

ウ 大人数で。

ア 共感。

イ 敵対心。

ウ 同情。

エ あこがれ。

問三 線③「大手をふつて」の意味としてもつともよいものを次の

アから選び、記号で答えなさい。

ア 遠慮をしないで。

イ けんかしないで。

ウ 大人数で。

エ 共感。

イ 敵対心。

ウ 同情。

□

□

□

□

□

□

□

第4回 体感する宇宙

— 学習内容 —

・ 文の成分
・ 説明文

学習日 / 月 日



上の□のことはを□にあてはめていこう。
最後に残るのは、何かな？ □に書こう。

答え



*は木の名前

〔二文字〕	〔四文字〕
*ウメ (梅)	ウラジロ (裏白)
ウリ	*クロモジ (黒文字)
*クリ	チクリン (竹林)
ゴマ	バイリン (梅林)
*マツ (松)	ミシヨウ (実生)
〔三文字〕	リヨクチ (緑地)
アオバ (青葉)	リンドウ (林道)
*サクラ (桜)	〔五文字〕
*ミカン	シンリョク (新緑)
*リンゴ	〔六文字〕
	シンリンヨク (森林浴)
	ヨウリョクソ (葉緑素)

・ 実生 || 草木が種から芽を出して生長すること。
また、そういう植物。

1 <漢字の読み書き>

- (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) のかたかなは漢字に直して書きなさい。

- いとこの就職が決まる。
- チームの主将を務める。
- 色が美しい磁器の茶わんを買う。
- 手入れの方法を忘れずに聞く。
- 親コウコウを照れずにできる人。
- ねだん以上のカチがある。
- ふっとうしたお湯でコウチャを入れる。
- レイゾウコから牛乳を出す。

2 <文の成分>

次の各文の——線部のはたらきをあとのア〜オから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ゆうべとなりの家の人が来た。
- うちの犬がにげだしたのだ。
- えっ、どうでしょう、と母はうるたえるだけだった。
- そこで、ぼくはさがしに出かけることにした。
- ぼくは、急いで着がえた。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語
エ 接続語 オ 独立語

(1) (2) (3) (4) (5)

3 <修飾・被修飾の関係>

次の——線部のことばを修飾しているのはどのことばですか。それぞれ記号で答えなさい。

- 青い Tシャツが 見つからず、白いもので がまんした。
- 朝から くもっていたが、小雨が パラパラと 降りだした。
- ぼくは、少し 走りながら、公園に 向かった。
- でも、辺りには 犬の姿は まったく なかった。
- まもなく みなさんが おまちなかの リレーが 始まります。

(1) (2) (3) (4) (5)

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

皆さんは普段、どこかに出かけるときには「道順」を考え、3つ先の角を右に曲がって、次の角を左に曲がる...と、目的地に向かってどの道を歩くかというのを考えますよね。でも、「宇宙飛行」では「道」はありません。道のない暗闇の中で、ロケットはどのようにして目的地まで向かっているのでしょうか。

実は、その方法は結構原始的で、ブレーカーが落ちて暗闇になった部屋を歩くようなものなのです。まず、ゴールの場所と到着日時を定めます。月に行くのであれば、何月何日に月があるはずの位置というのを調べるわけです。そして、そこに向かって飛び立ちます。

飛び立つたら、自分が乗っているロケットの加速度(ロケットをどれくらいふかしたか)を測ります。すると「今これくらいの時間ロケットをふかしたから、これくらい進むはずだ」というのが計算できます。ふかす時間というのをあらかじめきっちり決めておいて、その時間だけふかせば、予定通りの距離を移動できるということです。A ふかす方向もあらかじめきっちり決めておいて、この繰り返しで、目的地まで進むわけです。

もちろん誤差も出てきますが、それはロケットの中から星を観測して位置を計算し直し、ふかす力や方向を調整して軌道修正しているのです。宇宙空間を目的地に向かって進むためには、加速度を測ること

いようなものを用意しなくてはなりません。

(竹内薫『体感する宇宙』株式会社KADOKAWA)

*1原始的に素朴で単純なさま。

*2ふかすエンジンを早く回転させる。

*3軌道に進んでいく道筋。

*4アポロ11号史上初の月着陸を達成した宇宙船。

*5GPS人工衛星を利用した、位置を測るシステム。

*6NG具合や都合の悪いこと。

問一 □ A〜Cにあてはまることばとして最もよいものを次のア〜エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア たとえば イ また ウ しかし エ さて

A B C

問二 線①「宇宙飛行」とありますが、「月」に行く場合、飛行前に何を調べますか。次の□にあてはまることばを文中から九

字で書きぬきなさい。

定めた到着日時に



問三 線②「予定通りの距離を移動できる」とありますが、予定

通りの距離を進むためには乗っているロケットの中で何をすることが必要ですか。文中から八字で書きぬきなさい。



が必要ですか。B 10分エンジンをふかせば、どれだけ速度がついてその速度で何分進めばどのくらいの距離を進むかというのを計算して、そのとおりにエンジンをふかすのです。アポロ11号が25

月に着いたときももちろん、この方法で飛んでいったわけです。宇宙ではGPSは使えませんが、このようにエンジンをふかした時間を測り、進んだ距離を足し合わせていけば、宇宙飛行をすることは可能ということですね。向きも、ロケットの窓から観測で

きる星の位置と自分の位置との関係で測ることができますから、GPSがなくても大丈夫です。C これまでの話から、宇宙飛行の必需品を考えてみま

しょう。まずは、ふかした時間を測るストップウォッチ、それから速度や移動距離を計算するための計算機ですね。

それから、ロケットの中で生存するためには、もちろん水が必要

です。また、ロケットの中でいろいろなことをするために、電気も必要です。水と電気を両方作り出すために、宇宙飛行ではロ

ケットの中に水素と酸素を積み込みます。水素と酸素があれば、〈中略〉水を電気分解して水素と酸素を作り出すという原理の逆

のシステムを使って、水素と酸素を使うことで電気と水を作り出すことができるのです。

さらに必要なものは、食べ物です。宇宙飛行中は無重力状態のため、食べ物があちこちに浮いてしまうため、水とお湯を沸かすための電気があったとしても、普段食べているカップラーメンはNGです。精密機器にラーメンの汁が入り込んで故障させてしま

問四 線③「ふかす方向もあらかじめきっちり決めておいて」とありますが、宇宙空間では進む方向を何によって測ることができ

ますか。文中から二十一字でさがし、その初めと終わりの六字を書きぬきなさい。



問五 線④「それ」の指すことばを文中から書きぬきなさい。

□

問六 線⑤「宇宙飛行の必需品」として「水素」と「酸素」をロケットに積み込むのはなぜですか。

□

問七 この文章の内容としてあてはまらないものを次のア〜エから一

つ選び、記号で答えなさい。

ア ロケットのエンジンをふかした時間を測り、進んだ距離を足し合わせていけば、宇宙飛行をすることは可能である。

イ 宇宙へ飛び立ったあと、ロケットはエンジンをふかす力や方向を調整して軌道修正している。

ウ 宇宙空間を目的地に向かって進むためには、加速度を測るほかにGPSを利用することも必要である。

エ 宇宙飛行中はロケットの中は無重力状態のため、食べ物があちこちに浮いてしまう。

□



展示会場に来た人たちが勝手なおしゃべりをしているよ。でも、よく見ると、あるルールにしたがったことばになっているね。何と言っているのか、ルールを発見して□□にあてはまることばを書こう！

第8回 展示会場



1 <漢字の読み書き>

- (1) (8)のかたかなは漢字に直して書きなさい。
- (2) 妹の誕生日を祝ってパーティーを開く。
- (3) プレゼント選びに意欲を燃やす。
- (4) 机の上にカードを置く。
- (5) 妹の好きな雑誌を買う。
- (6) 卒業生におくることばをサクバン考えた。
- (7) きっとプレゼントにカンゲキするだろう。
- (8) 喜ぶスガタが目にかぶ。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)



◆詩の表現：さまざま表現のくふうがこらされています。

- (1) 喩法(たとえ) 〓別のものにたとえることで、イメージを伝える方法。

- ① 直喩法 〓「みたいだ」「ようだ」などのことばを使ったとえる。
- ② 近づく壁のようなハードル

- ③ 隠喩法 〓「ようだ」などのことばを使わずにたとえる。
- ④ 山田さんはクラスの太陽だ

- ⑤ 擬人法 〓人でないものを人に見立てて表現する。
- ⑥ 木々がおじぎをくり返していた

- (2) 倒置法 〓ことばの順序をふつうとは逆にして、感動を強める方法。
- ⑦ めざすのだ あの高みを

- (3) 体言(名詞) 止め 〓文の終わりを体言(名詞)で終えて、味わいを残したり、リズムを生み出したりする方法。
- ⑧ ああ、豆ほどの白金の太陽

- (4) 反復法(くり返し) 〓同じことばをくり返して印象を強める方法。
- ⑨ 近づいてくる / 近づいてくる

- (5) 対句法 〓同じリズムで、似た内容や対立する内容のことばを並べてリズムを整え、印象を強める方法。
- ⑩ 雨ニモマケズ / 風ニモマケズ

- (6) 省略法 〓ことばを省いて味わいを生み出す方法。
- ⑪ やがてやみがおとずれると……

文章たんけん

1 次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。(1〜27は行番号です)

散歩の唄
あかりと 爆に
右の手と左の手に
ぶらさがった子供たちが
上をむいて

山本 太郎

オトーチャマという
俺も上をむいて
誰かの名前を呼びたいが
誰もいない
俺の空はみごとにがらんどうで
鳥に化けた雲ばかりが
飛んでゆく
すばらしいじゃないか
このがらんどうのなかで
お前達のオカーチャマが
一本のローソクのように
燃えていたのだ
燃えてふるえて俺をまっていたのだ
お前達もいつかは
がらんどうの空をもつだろう
そのときは ひとりびとりの
たしかな脚で立って歩いて

20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

お前達の焰をお探し
ほら ぶらさがってはだめだ
もういちど をみてごらん
もうオトーチャマの顔はない
間違っではいけない
ゆらゆらゆれているのは
消えてゆく雲だ

『日本の詩歌27』中央公論社

*1あかり、*2爆*どちらも子供の名前。
*3がらんどう*中になにもないこと。

27 26 25 24 23 22 21

問一

この詩の種類は、(1)用語、(2)形式、(3)内容のうえから、何に分

類されますか。それぞれ記号で答えなさい。

- (1) ア 口語詩 イ 文語詩
(2) ア 定型詩 イ 自由詩 ウ 散文詩
(3) ア 叙景詩 イ 叙情詩 ウ 叙事詩

Answer boxes for question 1.

問二

この詩の中で使われている表現技法としてもっともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 対句法 イ 体言止め
ウ 反復法 エ 比喩

Answer box for question 2.

問三

線①「オトーチャマ」、④「オカーチャマ」という表現からどんなことが感じられますか。もっともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 子供たちがおびえ緊張していること。
イ 子供たちがまだ幼くあどけないこと。
ウ 子供たちがわざとふざけていること。
エ 子供たちが親に気をつけていること。

Answer box for question 3.

問四

線②「誰もいない」とありますが、どういう人がいないということですか。もっともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 自分が安心して心から頼れる人。
イ 自分をいつも頼ってくる人。
ウ 自分の存在を認めてくれる人。
エ 自分ひとりで生きていける人。

Answer box for question 4.

問五

線③「みごとに」のここの意味としてもっともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 上手に イ 必ず
ウ 完全に エ すばらしく

Answer box for question 5.

問六

線⑤「ひとりびとりの／たしかな脚で立って歩いて」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 「ひとりびとりの／たしかな脚で立って歩く」とはどういうことですか。もっともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 親になること。 イ 自立すること。
ウ 体力をつけること。 エ 結婚すること。

Answer box for question 6.

うなことばで表していますか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

親の手に

Blank boxes for writing the answer.

歩く。

問七

線⑥「お前達の焰をお探し」とありますが、作者にとっての「焰」は何(だれ)だったと考えられますか。

Blank box for writing the answer.

問八

□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 前 イ 後ろ ウ 上 エ 下

Answer box for question 8.

問九

線⑦「もうオトーチャマの顔はない」とありますが、それはどういうときですか。もっともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 親の期待にそえる人生を送れるようになったとき。
イ 自分を心から大切に思ってくれる人が現れたとき。
ウ 自分の将来について考え、悩み始めるようになったとき。
エ 親に頼らずに生きていかなければならなくなったとき。

Answer box for question 9.

問十

この詩の表現の特徴としてもっともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 目の前の子供に話しかけるように書いている。
イ 事実を直接的なことばで書いている。
ウ たとえを用いて物事をわかりやすく書いている。
エ 読む者にうったえかけられるように書いている。

Answer box for question 10.



□にあてはめると二字熟語ができる漢字を見つけよう。その漢字を組み合わせてできる漢字を「(イコール記号)」の右側の□に書こう。そうすると、二字熟語が二つできて、上の二人がどんな会話をしているかがわかるよ。



毛 (1) まき 卷 (2) 顔 (3) 紙 (3) =

作 (4) 章 (5) 前 (6) = 法 (6)

(7) 肉 (8) 院 (9) = 山 (8)

(10) 服 (11) 類 (12) = 白 (11)



1 <漢字の読み書き>

(1) (2) (3) (4)の漢字は読みがなをひらがなで、(5) (6) (7) (8)のかたかなは漢字に直して書きなさい。

- (1) ベスト・セラーの批評が新聞にのる。
- (2) 同じ著者の本を続けて読む。
- (3) ツユクサの花をつんで紙を染める。
- (4) かれの考えはふつうの尺度でははかれない。
- (5) 食べすぎでイチヨウの調子が悪い。
- (6) 色のついたガラスがマドにはめこまれる。
- (7) 室内でバイオリンをエンソウする。
- (8) イチヨウのナミキが続く。

2 <熟語の構成>

次の二字熟語の構成は、あとのア〜オのどれにあたりますか。それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 損害
- (2) 永住
- (3) 国营
- (4) 加熱
- (5) 往復
- (6) 血管
- (7) 均等
- (8) 預金
- (9) 新旧

3 <熟語の構成>

次の□に「非・不・未・無」のどれかを入れて、熟語にしなさい。

- (1) 限
- (2) 刊
- (3) 正
- (4) 成年
- (5) 売品
- (6) 注意
- (7) 表情

4 <熟語の構成>

次の□に「化・性・然」のどれかを入れて、熟語にしなさい。

- (1) 断
- (2) 適
- (3) 歴
- (4) 人間
- (5) 表面
- (6) 自由

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

みなさんは、海の水が増える、ということがどんなことだか考えたことがあるでしょうか。たとえば海の水が増えて海面が一メートル上がったとしましょう。すると、日本でいえば、日本全体が一メートルしずむのと同じことです。世界中の陸地全体が一メートル低くなるのです。

南太平洋にツバルという、総面積二六平方キロ、人口一万人足らずの小さな国があります。テレビで見た人もあるでしょう。この国は、いくつかの小さくて平べったい島からできていて、多くはサンゴ礁の島々です。海はきれいで、島にはヤシの木が茂り、熱帯の楽園のようなどころです。そこで人々は、漁業と観光で生活しています。

でも、島のいちばん高いところでも海面から約四メートル、つまり二階建ての建物より低いのです。このように土地が低いために、これから海の水が増えてくると、これらの島には住めなくなってしまう、つまりと恐れられています。

問題はツバルだけにはかぎりません。太平洋やインド洋には似たようなサンゴ礁の島がたくさんあります。また、バングラデシュでは、海面が一メートル上がっただけで、国の水田の半分がなくなってしまうといわれています。

日本でも、海岸沿いに、東京や大阪などの大都市や、工場地帯がひろがっています。一メートル海面が上がると、満潮時に海面より低いところに住むことになってしまふ人は四〇〇万人をこえるのです。

るのです。

また、世界でも、米国のニューヨークなど、海岸沿いに大都市がある国が多いのです。中国で最大の都市である上海も、海面が一メートル上がっただけで、市街地の三分の一が水につかってしまいます。

海の水が増える原因は地球が温暖化することです。温暖化すると、南極や北極の陸地の上にある雪や氷が溶けて、海の水が増えるのです。

南極のまわりや北極海に浮いている氷山も溶けます。(a)、コップに水と氷を入れて溶かしてみればわかるように、水に浮いている氷が溶けても、その水の体積は水中に沈んでいた氷の体積と同じなので、水面の高さは変わりません。(b)氷山が溶けても、海水面が高くなるわけではありません。

では、なぜ、どうやって、二酸化炭素のせいで地球が温暖化するのでしょうか。

花や野菜を作る温室は、屋根がガラスや透明なビニールになっていて、太陽のエネルギーを温室の中に取りこむのですが、一方、ガラスやビニールが温室から外へ逃げようとする温まった空気をとじこめてしまうので、温室の中の温度が上がるしくみです。

地球の場合には、二酸化炭素というガスと水蒸気が温室のガラスやビニールの役目をして、太陽から来たエネルギーによって地球にできた熱を閉じこめてしまいます。こうして、地球の温度が上がるのです。

海に囲まれているか海岸沿いであって、

国や地域。

問四 () a・bにあてはまることばとして最もよいものを次のア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア また イ つまり
ウ あるいは エ しかし

問五 線③「なぜ、どうやって、二酸化炭素のせいで地球が温暖化するのでしょうか」とありますが、二酸化炭素のせいで地球が温暖化するのにはなぜですか。次の□にあてはまることばを、文中から二十六字で書きぬきなさい。

太陽のエネルギーによって地球にできた熱が地表から逃げているのを二酸化炭素が□から。

Grid for question 5 with 6 columns and 6 rows.

問六 この文章はA・Bの二つのまとまりに分かれています。それぞれに小見出しがついています。それぞれの小見出しとして最もよいものを次のア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 気温はどれくらい上がった?
イ 二酸化炭素は地球のかけどん
ウ 海の生きものがあぶない!
エ 太平洋の島国が消える?

Answer boxes A and B for question 6.

やかんやなべがだんだん冷えていくのと同じように、地球からも、どんどん熱が逃げていっています。でも、このときに、二酸化炭素と水蒸気が地表から逃げていく熱(赤外線)を吸収したり、吸収した熱をふたたび放出して地表にもどすのです。こうしてみると、温室のビニールやガラスは、温まった空気と冷たい空気がまざるのをふさいでいるのですから、この地球に起こっていることは、厳密にいえばちがう現象です。しかし、熱の逃げるのをふせぐという意味で、地球温暖化はよく、温室にたとえられるのです。

(島村英紀『地球環境のしくみ』さ・え・ら書房)

問一 線①「海の水が増える」とありますが、海の水が増えるのはなぜですか。文中のことばを使って書きなさい。

Answer box for question 1.

問二 □にあてはまることばとして最もよいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 植物がすべてかかれてしまうのでは
イ 魚かい類がとれなくなってしまうのでは
ウ 観光客が来なくなってしまうのでは
エ 国がなくなってしまうのでは

問三 線②「問題はツバルだけにはかぎりません」とありますが、海の水が増えることによって特に深刻な影響を受けるのはどのような国や地域ですか。次の□にあてはまることばを文中から五字で書きぬきなさい。